



写真4 リベリアの研修生達と血液浄化センタースタッフ

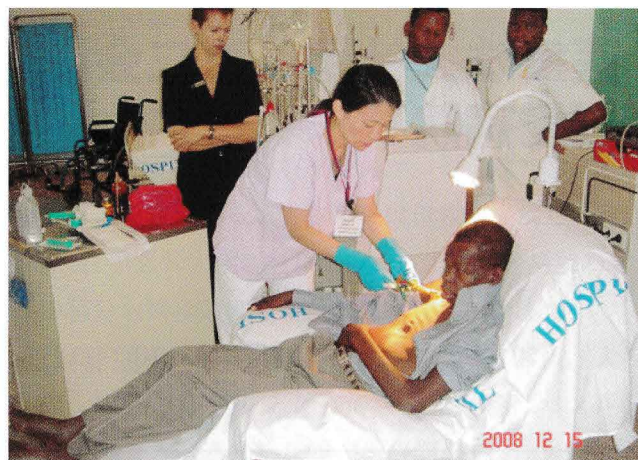


写真5 モザンビークでの血液透析開始時の風景

## 海外への透析支援

透析治療が十分に行えていないアフリカやアジア地域の国々に対する透析支援も積極的に行っています。2008年8月にモザンビークから医師・看護師・医療エンジニアが当院に4週間滞在し、透析治療を含めた腎不全医療に関して研修を行いました。そして同年12月に小林修三副院長をはじめ、医師・看護師・臨床工学技士がチームをつくりモザンビークに赴き、現地で血液透析治療を開始しました。このような形式で、日本での研修を行った国々は、アフリカ18ヵ国とタイ・ラオス・モンゴル・キルギス・ロシア・ブルガリアの6ヵ国になります。そして、実際に当施設より現地に赴き透析治療を開始したアフリカの国々は、モザンビーク、ジブチ、ザンビア、カメルーン、タンザニア、スワジランド、ガーナ、マラウィー、トーゴ、そしてもうすぐ出発するコンゴがあります。日本の常識が全く通用しないアフリカでの医療体験は驚くことが多いです。一方で、われわれは日頃、疾患の診断と治療を主に優先して考えるわけですが、日本がそのような環境であることへの感謝の気持ちをあらためて感じさせてくれる経験にもなります。

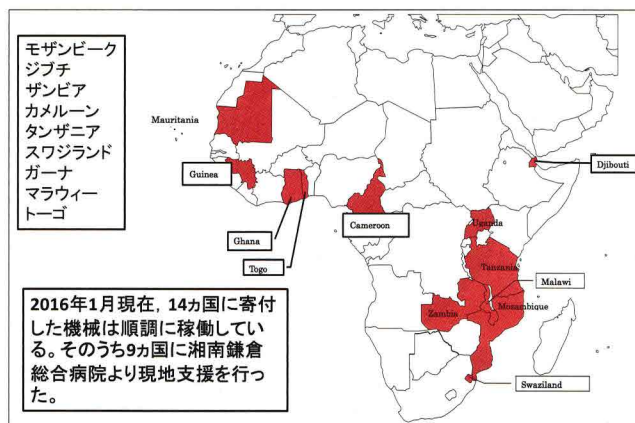


図 われわれが現地指導・支援したアフリカの国々

## おわりに

今後も、常に安心して安全な血液浄化療法の提供を心がけることが、まず根本です。透析ライフという言葉があるように、患者さんにとって透析は生活の一部となっています。そのため、QOLの悪化を防ぐことができるような質の高い透析治療を提供したいと考えています。

### 〈お問い合わせ〉

湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター  
〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370番1  
TEL 0467-46-1717  
FAX 0467-45-0190